



和食文化ネットワーク__北海道（2022 年 6 月 28 日号）



北海道農政事務所では、庁舎内及びウェブサイト上に消費者の部屋（消費者コーナー）を設置し、身近な食生活に関する情報や農林水産省の取組などを分かりやすくお伝えするため、パネルや食事バランスガイドのフードモデルの展示、パンフレットの配布等を行っております。

今年度のテーマは、「いつもの食を、いつまでも」

そして、6 月 30 日（木）にはアリオ札幌にて【移動消費者の部屋】を開設いたします！当日はパネル展示や動画上映、パンフレット配布により、

- ・みどりの食料システム戦略
- ・食育月間、食育活動表彰事例の紹介
- ・令和 4 年度「受け継ぎたい北海道の食」動画コンテストの開催予告、これまでの受賞作品の紹介

- ・和食・食文化、北海道の郷土料理の紹介
- ・地理的表示（GI）制度、北海道の登録産品の紹介

などなど、内容盛りだくさんの展示物をお届けいたします！

平日お昼の展示とはなりますが、ご興味のある方がいらっしゃいましたら是非お立ち寄りください！

【イベント名】移動消費者の部屋「いつもの食を、いつまでも」

【開催日】令和 4 年 6 月 30 日（木曜日）

【時 間】10 時 00 分～16 時 30 分

【場 所】アリオ札幌 1 階 ロフト前

・【プレスリリース】移動消費者の部屋「いつもの食を、いつまでも」の開設について
<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/anzen/seikatsu/220624.html>

・アリオ札幌 HP イベントページ
<https://sapporo.ario.jp/event/1100003480/>

さて、今回は農林水産省 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」募集開始を含む 3 項目をご紹介します。ご興味のある項目がありましたら、是非ご覧ください。

【目次】

1. 農林水産省 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」募集開始
2. しょうゆ情報センター 「木桶による発酵文化サミット」動画配信
3. (公財) 全国税理士共栄会文化財団 助成募集について

1. 農林水産省 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」募集開始

農林水産省では、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現を推進しています。

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」は、農山漁村が持つポテンシャルを引き出して地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定・発信し、他地域への波及を図る取組です。

このため、地域の活性化や所得向上に熱心に取り組んでおり、また他の地域での取組参考となるような素晴らしい取組事例を募集します。(第9回選定：8月26日(金)まで募集)

選定された地区については、選定証の授与を行うとともに、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」特設Webサイトでの活動の紹介などを通じた全国的な情報発信で紹介を行っていきます。

団体用記載例②として「団体・食文化、伝統の承継」がありますので、ご参考の上、奮ってご応募ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/220616.html>

2. しょうゆ情報センター 「木桶による発酵文化サミット」動画配信

2012年に小豆島・ヤマロク醤油5代目・山本康夫氏が中心となって立ち上げた“木桶職人復活プロジェクト”では、毎年1月に小豆島で、新桶作りを中心とした「木桶による発酵文化サミット&フェスティバル」を開催しています。

今年は1月に開催され、木桶復活に懸ける熱い思いや木桶作りに元気に取り組む姿が伝わって来る動画(17分15秒)をご覧ください。

<https://www.soyssauce.or.jp/news/132214>

3. (公財)全国税理士共栄会文化財団 助成募集について

一人ひとりが暮らす地域社会の文化は、人々にとって生きる自信や誇りを与えるものであり、その主体性を確立していく必要があります。特に心のふるさとを求めて地域文化の再認識が現在各地で求められているところです。

こうした考えに基づき、公益財団法人全国税理士共栄会文化財団では、食文化分野を始めとする地域文化の活動に対し助成を行います。

- ・募集方法：推薦制公募方式(都道府県、学識経験者、報道機関等の推薦)
- ・助成対象：④食文化分野

地域における食文化に関わる技能及び技法、並びに継承者の育成等を図るための活動な

